

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

JCOM 株式会社（証券コード：-）

【見直し変更】

長期発行体格付
格付の見直し

A+
安定的 → ポジティブ

■ 格付事由

- 国内トップのケーブルテレビ局・番組供給事業の統括運営会社。グループの各ケーブルテレビ局がケーブルテレビ、高速インターネット接続、固定電話、モバイル、電力、ガスなどのサービスを提供している。サービス加入世帯数は562万世帯（22年6月末）で、有料ケーブルテレビ市場における当社シェアは約5割を占める。株主はKDDI（持株比率50%）、住友商事（同50%）である。16年3月にはテレビ通販の国内最大手であるジュピターショップチャンネルの株式50%を取得し、連結子会社とした。
- 強固な収益基盤が維持されている。有料多チャンネルサービス市場は頭打ちを迎えているが、多角的なサービス展開を通じて、当社のサービス加入世帯数は純増が続いている。ケーブルテレビではNetflixなどOTT事業者とのセットプランの提供を開始、インターネットではネットワークの高度化を進めるなど、利用者のニーズに合わせた対応を強化し、新規加入者の獲得と解約防止に取り組んでいる。市場環境は厳しいものの、こうした取り組みによって引き続き高水準の利益を維持できると考えている。財務構成は着実な資本の蓄積により、近年改善傾向で推移している。今後、設備投資がピークアウトする中で有利子負債の削減も進み、財務改善ペースは一段加速するとみている。以上より、格付を据え置くものの、見直しをポジティブに変更した。
- 22/3期は営業収益7,981億円（前期比1.6%増）、当社株主に帰属する当期純利益700億円（同4.2%増）となった。ネットおよび電力の加入世帯数が伸長し、業績に寄与した。一方、ショップチャンネル事業はコロナ禍の長期化により宝飾品やファッション関連商品の需要の戻りが遅れ、業績は弱含んでいる。今後、ウィズコロナへの移行が進む中で回復に転じるか見守っていく。中長期的には、主力のケーブルテレビサービスの更なる成長は限定的と見込まれる。サービスの多角化や競争力の向上によって安定した顧客基盤を維持しつつ、ライフサポート関連の新商材や「J:COM ほけん」などの新事業が成長し、新たな収益源として業績寄与度を高められるか注目していく。

（担当）千種 裕之・石崎 美瑛

■ 格付対象

発行体：JCOM 株式会社

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A+	ポジティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年8月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) JCOM株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル